









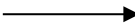
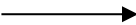


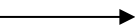
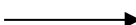

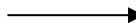




野菜の生育状況及び年末・年始の価格見通しについて
 (東京都中央卸売市場における**主産県及び卸売会社からの聞き取り**による)

(総論)

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類 (だいこん、にんじん)	だいこんは、11月中旬以降の低温及び少雨により、 小ぶり傾向 。 にんじんは、夏場の高温・少雨等の影響が残っており、 小ぶり傾向 。
葉 茎 菜 類 (はくさい、キャベツ等)	ねぎの生育は、概ね順調。 はくさい、キャベツ、レタスは11月中旬以降の低温により 小玉傾向 、ほうれんそうは、 細身傾向 。
果 菜 類 (きゅうり、なす等)	生育は、概ね順調。 ただし、トマトは、11月中旬以降の低温により、 着色遅れ 。
土 物 類 (ばれいしょ、さといも等)	たまねぎは、生育期(6～7月)の少雨により 小玉傾向 。

品 目	主 産 県 ※()書きは 昨年12月の 入荷シェア。	今 後 の 生 育 及 び 出 荷 見 通 し	価 格 見 通 し (平年比)	
			年 末	年 始
だ い こ ん	神奈川県(48%) 千葉県(42%)	・11月中旬以降の低温及び少雨により、引き続き、小ぶり傾向が続いていることから、 <u>出荷数量が平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。		
に ん じ ん	千葉県(78%) 埼玉県(6%)	・夏場の高温・少雨や台風等の影響が残っており、引き続き、小ぶり傾向が続いていることから、 <u>出荷数量が平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。		
は く さ い	茨城(95%)	・11月中旬以降の低温により小玉傾向が続いていることに加え、生育初期に台風26号の影響を受けたものについては、結球不良が発生してきていることから、 <u>出荷数量が平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。		

キャベツ	愛知(55%) 千葉(25%)	・11月中旬以降の低温及び少雨により、引き続き、小玉傾向が続いていることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
ほうれんそう	群馬(41%) 千葉(17%)	・11月中旬以降の低温により、細身傾向となっていることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
ねぎ	千葉(23%) 茨城(17%)	・台風26号等の影響から回復傾向にあることから、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
レタス	静岡(34%) 茨城(15%)	・11月中旬以降の低温により、小玉傾向となっていることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
きゅうり	宮崎(41%) 千葉(19%)	・11月中旬以降の低温により、肥大が遅れ気味となっているものの、11月中旬以降日照量に恵まれ、着果が回復傾向にあることから、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
なす	高知(61%) 福岡(17%)	・11月中旬以降の低温により、肥大が遅れ気味となっているものの、11月中旬以降日照量に恵まれ、着果が回復傾向にあることから、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
トマト	熊本(47%) 愛知(20%)	・11月中旬以降の低温により、着色が遅れ気味なことから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		

ピーマン	茨城(28%) 宮崎(28%)	・11月中旬以降の低温により、肥大が遅れ気味となっているものの、 11月中旬以降日照量に恵まれ、着果が回復傾向にあることから、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
ばれいしょ	北海道(81%) 長崎(18%)	・収量は概ね平年並であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
さといも	埼玉(52%) 千葉(22%) 宮崎(6%)	・一部産地では生育期の少雨により小玉傾向であるものの、主産地の収量が概ね平年並であることから、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
たまねぎ	北海道(96%)	・生育期の少雨による小玉傾向のため、収量は平年を下回る見込みであり、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> ・ただし、海外からの輸入動向によっては、価格は平年並になる見込み。	↗	↗